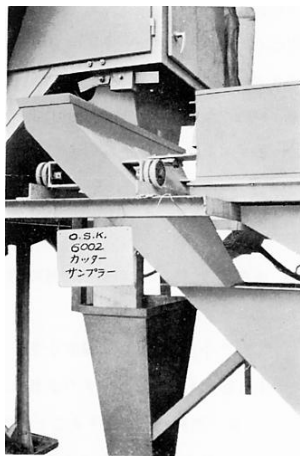


O. S. K 6002 カッターサンプラー

(C u t t e r S a m p l e r)



紛塊混合物、粉体、流体などの試料を輸送途中のベルトコンベア、シュート等の落ち口に設置し、その全流幅をカッターが直角に横切ってインクリメントを定間隔に採取するタイプで、カタヨリなく自動的に系統サンプリングすることができます。

特 徴

- (1) 所要時間間隔又は重量間隔毎に自動的にサンプリングを行います。
(間隔の設定はタイマー又はメリックスケールの設定により簡単に行えます。)
- (2) カッターが試料の流れの全流幅を横切って通過するため、カタヨリなくサンプリングすることができます。
- (3) カッター速度を変更することによりインクリメントサイズを所要の大きさにすることができます。
- (4) カッター幅を変更することによりロットの最大粒度に応じてインクリメントサイズを変更することができます。
- (5) カッターは材質、傾斜、形状などに設計的考慮が払われていますので試料の詰まり、残留などはありません。
- (6) カッター、駆動部分等に十分な強度と構造を有し、ブレーキはリミットスイッチ又はセンサーとディスクブレーキの組合せにより無理なく確実に停止することができます。
- (7) 輸送ベルトコンベアとのインターロック及び空振り防止装置との併用により確実に採取することができます。

仕 様

- (1) カッター横行ストローク 500～5,000mm
- (2) カッター横行スピード 150～1,000mm/Sec
- (3) 採取間隔の調整は時間等間隔の場合はタイマーで行い、重量間隔の場合はメリックスケールの採取指令信号により行います。
- (4) インクリメントサイズの調整は最大粒度に対応したカッター幅の変更あるいはカッター速度の変更により行えます。

サンプリング精度

試料：石炭：特性値：Ash, $n=10$ (10ロットで実験した一例)

$$\sigma s = 0.351\%$$

